

第11回 2011年

住宅課題賞 入選作品展

2011年 第11回 住宅課題賞 入選作品展

2011年 10月17日(月)
～11月4日(金)
日 (祝) 休館
10:00～18:00(最終日 16:00 まで)
ギャラリー エー クワッド



2011年 第11回 住宅課題賞 公開審査レポート

東京建築士会では、平成 13 年より「住宅課題賞」(建築系大学住宅課題優秀作品展)を開催しています。これは、東京圏に位置する大学の建築系学科等で行われている設計製図授業の中から、住宅課題における優秀作品を各校 1 作品ずつ推薦し、それらを一同に集めた展示会です。

この中から特に優れた作品を公開審査により「優秀賞」として顕彰しています。

本年も竹中工務店東京本店 1F に在ります ギャラリー エー クワッド において開催し、16 日間という短い展示期間にもかかわらず、1,300 名以上の方々に来場いただきました。

10月29日(土)に行われました「住宅課題賞」公開審査は、出展関係者 130 名を超える参加者の中、本年は、植田 実氏をはじめとする 5 名の審査員、下吹越 武人氏、高橋 晶子氏、福島 加津也氏、松下 督氏による、4 時間を超える白熱した審査により、参加 35 大学 44 学科、44 点の作品の中から 3 点を「優秀賞」、5 点を「審査員賞」として選出しました。

- 【審査員】
- 審査員長
植田 実(編集者・建築評論家)
- 審査員:
下吹越 武人(法政大学デザイン工学部教授/A. A. E.)
高橋 晶子(武蔵野美術大学造形学部教授/ワークステーション)
福島 加津也(福島加津也+富永祥子建築設計事務所)
松下 督(株式会社日建設計設計部門設計部)
- 司会:
木下 庸子(工学院大学工学部教授/設計組織ADH)

●「住宅課題賞」事前巡回審査

平成 23 年 10 月 29 日(土) 10:30～12:30 会場:竹中工務店東京本店 1F ギャラリー エー クワッド

事前巡回審査は、各審査員が展示会場を巡回し出展者から説明を受けて、作品を 5 点～7 点を選出する。今年は、18 点がノミネートされた。

【選出内訳】

植田=宮下潤也(筑波大学 芸術専門学群 デザイン専攻 建築デザインコース)/清宮あやの(東京理科大学 理工学部 建築学科)/大槻茜(東洋大学 理工学部 建築学科)/堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)/所澤安希(日本女子大学 家政学部 住居学科 建築環境デザイン専攻)/田中里加子(武蔵野美術大学 造形学部 建築学科)/ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)

下吹越=徳山瞳(共立女子大学 家政学部 建築・デザイン学科 建築コース)/小林哲也(東京芸術大学 美術学部 建築科)/清宮あやの(東京理科大学 理工学部 建築学科)/堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)/矢端孝平(前橋工科大学 工学部 建築学科)/ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)

高橋=紺野光(東京大学 工学部 建築学科)/小林洸陽(東京電機大学 未来科学部 建築学科)/星衛(日本大学 理工学部 建築学科)/矢端孝平(前橋工科大学 工学部 建築学科)/ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)/塩谷歩波(早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 建築学科)

福島=藏永むつみ(工学院大学 工学部 建築学科 建築学コース)/深澤衛(千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科 設計コース)/小林洸陽(東京電機大学 未来科学部 建築学科)/木村和(日本大学 芸術学部 デザイン学科 建築デザインコース)/堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)/矢端孝平(前橋工科大学 工学部 建築学科)/ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)

松下=山口紘奈(女子美術大学 芸術学部 デザイン学科 環境デザインコース)/小林哲也(東京芸術大学 美術学部 建築科)/木村和(日本大学 芸術学部 デザイン学科 建築デザインコース)/所澤安希(日本女子大学 家政学部 住居学科 建築環境デザイン専攻)/ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)



●「住宅課題賞」公開審査

平成23年10月29日(土) 13:00~17:00 会場:竹中工務店東京本店 2F Aホール
事前巡回審査後、場所を移して公開審査を行った。本審査1次で優秀賞1等が決定し、本審査2次を経て優秀賞2等・3等ならびに、それぞれの審査員が審査員賞(5点)を選出した。
なお、本審査1次は、審査員が3作品を選出し1等が決定した。点数配分は、1等(5点)、2等(3点)、3等(1点)。本審査2次では4作品から2等・3等を選出。点数配分は、2等(3点)、3等(1点)とした。

【本審査1次 選出内訳】

植 田 = 1等(5点) 堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)
2等(3点) ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)
3等(1点) 所澤安希(日本女子大学 家政学部 住居学科 建築環境デザイン専攻)

下吹越 = 1等(5点) ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)
2等(3点) 堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)
3等(1点) 清宮あやの(東京理科大学 理工学部 建築学科)

高 橋 = 1等(5点) ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)
2等(3点) 矢端孝平(前橋工科大学 工学部 建築学科)
3等(1点) 小林洸陽(東京電機大学 未来科学部 建築学科)

福 島 = 1等(5点) ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)
2等(3点) 矢端孝平(前橋工科大学 工学部 建築学科)
3等(1点) 藏永むつみ(工学院大学 工学部 建築学科 建築学コース)

松 下 = 1等(5点) 所澤安希(日本女子大学 家政学部 住居学科 建築環境デザイン専攻)
2等(3点) 小林洸陽(東京電機大学 未来科学部 建築学科)
3等(1点) ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)



横浜国立大学のヤップさんの作品が19点と大きく引き離して優秀賞1等が確定した。日本女子大学の所澤さんと前橋工科大学の矢端さんが共に6点と並び、さらに他4名が選出されたため、2次審査にて改めて2等・3等決定戦と審査員賞の選出が行われた。

【本審査2次 選出内訳】

植 田 = 2等(3点) 堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)
3等(1点) 所澤安希(日本女子大学 家政学部 住居学科 建築環境デザイン専攻)

下吹越 = 2等(3点) 堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)
3等(1点) 矢端孝平(前橋工科大学 工学部 建築学科)

高 橋 = 2等(3点) 矢端孝平(前橋工科大学 工学部 建築学科)
3等(1点) 堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)

福 島 = 2等(3点) 矢端孝平(前橋工科大学 工学部 建築学科)
3等(1点) 堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)

松 下 = 2等(3点) 堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)
3等(1点) 所澤安希(日本女子大学 家政学部 住居学科 建築環境デザイン専攻)

【審査員賞 選出内訳】

植 田 = 大槻茜(東洋大学 理工学部 建築学科)

下吹越 = 清宮あやの(東京理科大学 理工学部 建築学科)

高 橋 = 塩谷歩波(早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 建築学科)

福 島 = 藏永むつみ(工学院大学 工学部 建築学科 建築学コース)

松 下 = 木村和(日本大学 芸術学部 デザイン学科 建築デザインコース)

日本大学の堀さんが優秀賞2等、前橋工科大学の矢端さんが3等、審査員賞が5点確定した。以上、4時間以上におよぶ白熱した議論の末、1等の横浜国立大学のヤップさんを合わせて、受賞者は8名の方が選ばれた。

【受賞者一覧】

●「優秀賞」(3点)

1等:ヤップ・ミンウェイ(横浜国立大学 工学部 建設学科 建築学コース)
2等:堀裕平(日本大学 生産工学部 建築工学科 建築環境デザインコース)
3等:矢端孝平(前橋工科大学 工学部 建築学科)

●審査員賞(5点)

植田賞:大槻茜(東洋大学 理工学部 建築学科)
下吹越賞:清宮あやの(東京理科大学 理工学部 建築学科)
高橋賞:塩谷歩波(早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 建築学科)
福島賞:藏永むつみ(工学院大学 工学部 建築学科 建築学コース)
松下賞:木村和(日本大学 芸術学部 デザイン学科 建築デザインコース)

受賞者8名には、クリスタルトロフィーの授与、協賛会社と後援会社より副賞として、寄贈いただいた、各建築月刊誌の1年間分及び新刊を、それぞれ贈呈された。また、出展していただいた学生の皆様全員には、入選賞状と入選オリジナルデザイン記念バッジ(純銀製)の授与、協賛会社より副賞として新刊3冊の本が贈呈され閉幕となった。

